

## 世界共通仕様 銀河鉄道

水に浮き、低空飛行の12人乗りの車両、水路ポート設定すれば、24時間いつでも乗車可能(最も安全な乗り物)

「木造人工島」で検索、  
ガーデンフィールドのHPへ  
「銀河鉄道の夜」をクリックする。

ILLUST BOX

3mの高さで飛行

# 銀河鉄道木製車両

低空飛行で、故障してもプロペラは回転数を落としながら、ゆっくりと回り、軟着陸する。  
前方□200m内に船舶等があれば、外れるまで、着水待機する。

川

修理工場

水路

カーテン

バッテリー (X4)

□1.2m (12人乗り)  
1.2x2.4 (6人乗り)  
ベッド仕様

2500

ワイヤ引っ掛けフック

プロペラ

各部屋の両サイドにはTVモニターがあり、進行方向と後方のカメラ映像を見れます。  
また、ドアの内側にはタッチパネルが付帯しており、次の予約や予約変更、トイレや買い物のための降車指示を出すことが可能、

バッテリー (X4)

2500

水位

ヘリウムを充填 (浮力30kg)

ワイヤ巻き取り装置

水路

スロープ離陸エリア

クッション性のある構造又は素材

バッテリー交換 & 仕様変更ハウス

1mの高さで飛行

水路ポートの利点:  
ボトムの負担が少なく、形状は適当でよい。  
両端のワイヤーで正確な位置決めが可能

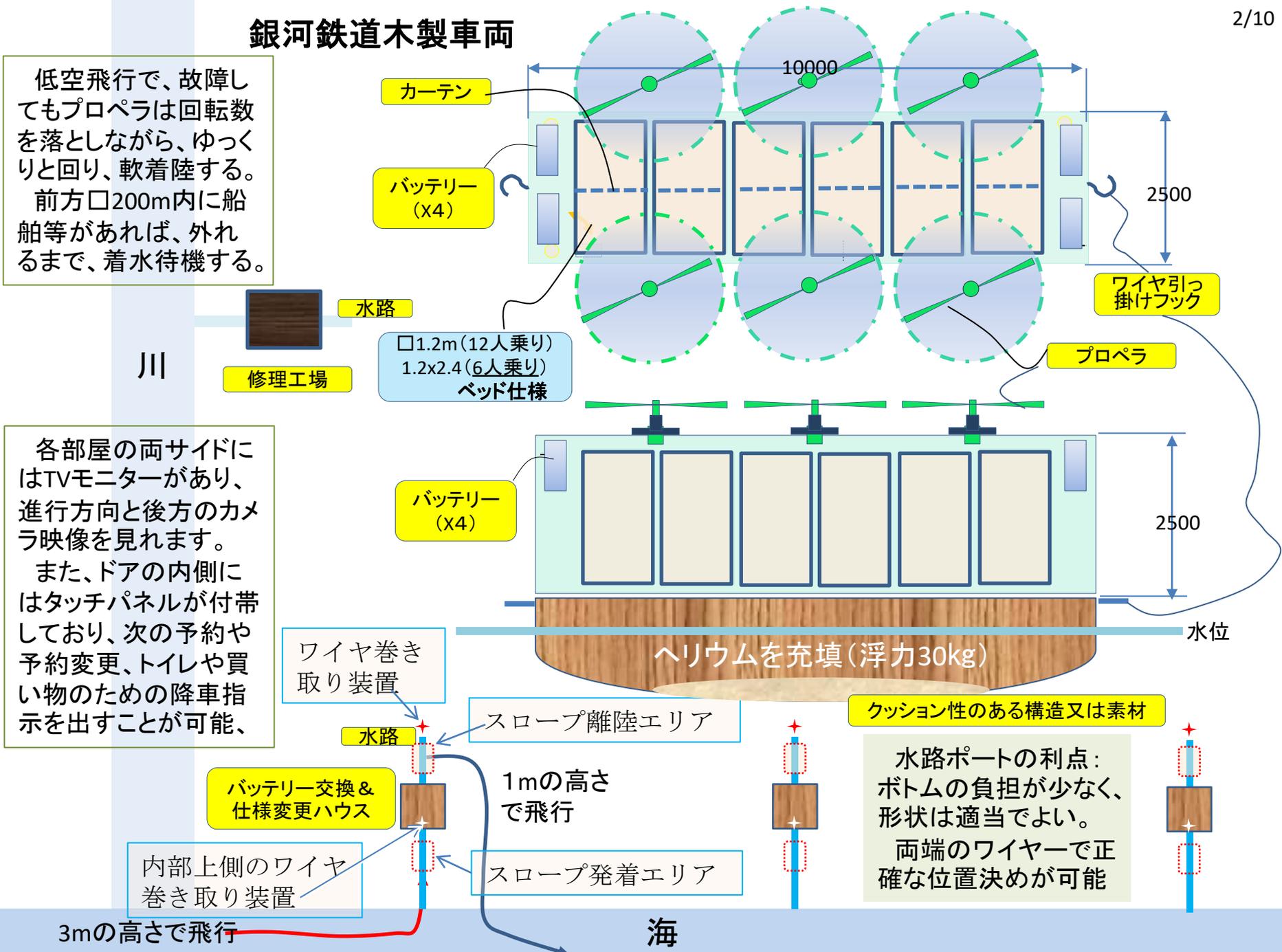
内部上側のワイヤ巻き取り装置

水路

スロープ発着エリア

3mの高さで飛行

海



## 銀河鉄道概要 (12人乗り、30~50km/h)

前ページの図において、故障落下時時の安全対策として、大型ドローンが、地上は1m、水上は3mで飛行する仕様にし、客室の下側を船状にし、さらに概船状のボトムを柔らかい素材にすることに加え、柔らかめの座席やベッドにすることで、落下時での身体へのダメージをほぼ0にする。

下側が安全で乗客がいないときは必要な高さで飛行することがある。(最大でも100m以内を想定)

衝突を回避するシステムとして、前方□200m内に、他の船舶等が存在していれば、着水しプロペラを止めて、該船舶等が前方□200mの域外に出るまで待機する。尚、該船舶等が全く移動せずに存在し続ける場合には迂回し、前方□200m内に船舶等が存在しない状況を作り出しながら、飛行をする。

該大型ドローンの前後に、ワイヤーで引っ張ることができるようなフックを設定し、海上でも陸上でも、(陸上の場合はビニールシート等を敷いて滑りやすくする)該フック部にて、ワイヤーを経由して、他の該大型ドローン、船舶や自動車等によって引っ張り、移動できるようにする。

海上での故障やバッテリー切れをしても、海上に漂う、すぐに連絡を受けたバックアップ機が飛来して、ワイヤーで故障車両を曳航し、もよりの水路ポートにて、乗客の載せ替えを行う、

24時間いつでも乗車&下車ができる。(スマホで予約&キャンセルをする。)水路ポートを設置すれば(海までの障害物がなければ)停留所はいくらでも設置できる。

次ページの図にて、該大型ドローンを水路に置いた<sup>3/10</sup>状態で、両端のフック部それぞれをワイヤーでつなぎ、ワイヤー巻き取り機でワイヤーを巻き取ることで、該大型ドローンが移動をし、また該二つのワイヤー巻き取り機を連動させることで、すなわち片方の巻き取り機が巻き取り、もう一方の巻き取り機が巻き戻しを行う連携動作によって、水路上での該大型ドローンの精密な位置決めが可能になる。

## 木造人工島概要

木枠を組んで、下側から複数の密閉木箱を使い浮力調整を行う、古典的な技術ながら、特許の取得ができている。「特許7112150浮遊人工島」。波力発電と海産物農業の大規模展開で、地球温暖化防止と食糧危機を救う。

## バッテリー自動交換ハウス概要

水路ポートの上側に設置する、ロボットによる各種交換やチェックを行う場所で、人が車両前後のワイヤーの取り付け取り外しを行うが、基本的に管制センター(チャットGPT)からの指示にて各種作業を行う。

乗降客の動向はすべて把握されているので、どこでどのバッテリーを交換するのがいいか、自動的にスケジュール管理がされている。(進行方向前方に船舶の往来が激しく、何度も待機し、起動のエネルギー消費で、万が一バッテリー切れが起きても回復が早い。)

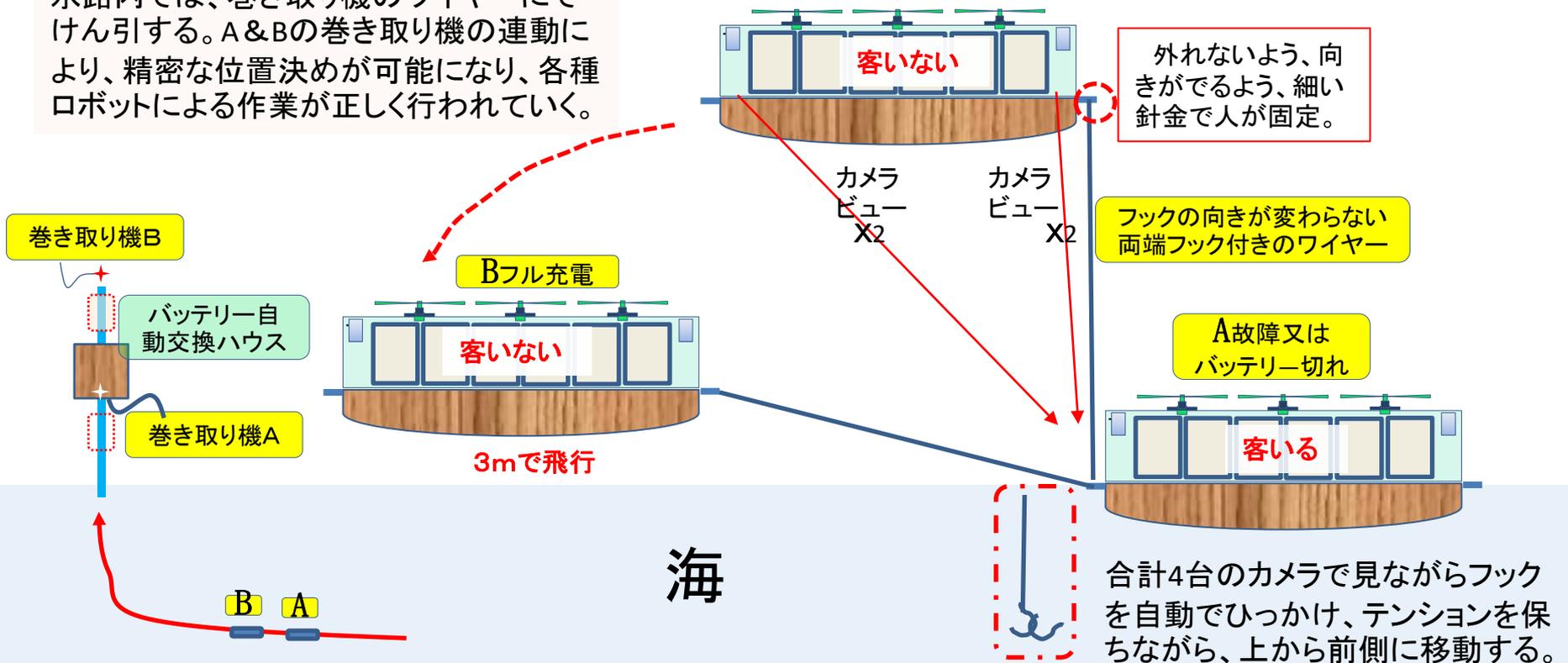
仕様変更ロボットは、椅子席二個(境界は壁と家族等でのカーテンタイプがある)タイプとベッドタイプのユニット交換を行う。尚ベッド仕様で、洋上ホテルとして使用する場合は、トイレやコンビニ等がある宿泊専用ポートを洋上に用意する。(木造人工島可)

# 銀河鉄道安全管理システム

バッテリー切れ & 故障しても、バッテリー交換をしたばかりのフル充電のドローンがすぐに迎えに行き、水路ポートにて乗り換えことができる。



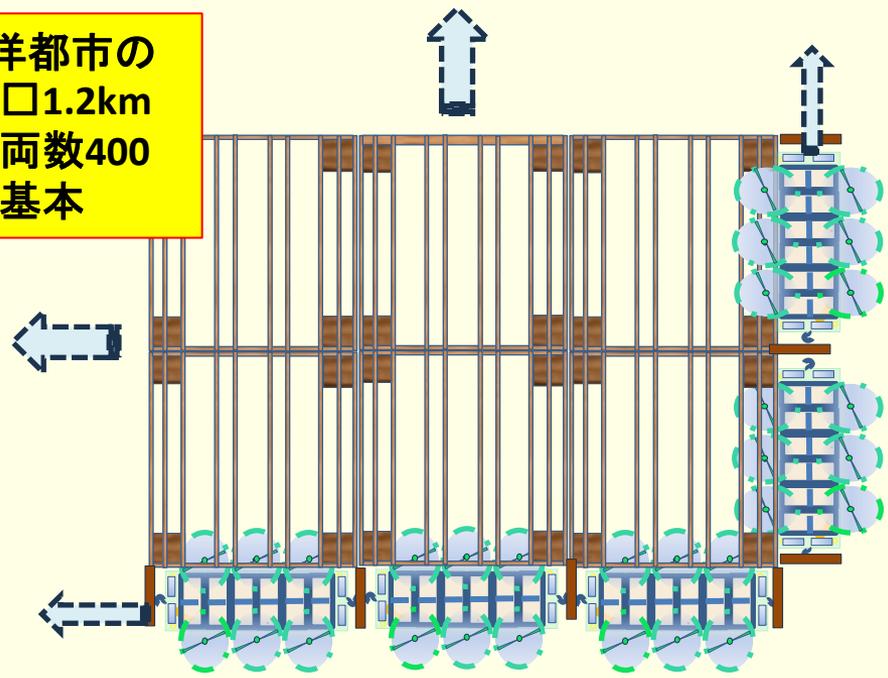
水路内では、巻き取り機のワイヤーにてけん引する。A&Bの巻き取り機の連動により、精密な位置決めが可能になり、各種ロボットによる作業が正しく行われていく。



□12mの木造人工島の数  
=100個X100個X希望国数

日本の希望する各市町村でつくる(各県  
単位で県内を調整し取りまとめを行う)

海洋都市の  
規模□1.2km  
&車両数400  
両が基本



銀河鉄道車両の数  
=100x4(辺)x希望国数

希望国の希望する各市町村でつくる  
(各国単位で調整し、取りまとめを行う)

数がいくら余っても構わない、世界の波  
力発電や海洋都市に適用できる(各種木  
製パーツで輸出し現地で組立て:クレー  
ン船を含め組立てクルーが派遣される)

世界共通仕様とは、どの国の車両が  
混在しても使えるようにすることで、自  
由競争が踏襲され、ユーザーに恩恵  
を与え、市場の活性化を促すものです。

世界平和の礎

基本エンジンと管制システムをテス  
ラ、グーグル、ファーウェイ、サムソン  
の4社に共同開発の依頼をする。(費  
用は、希望運用各国の利用料で賄う)

个体電池自動交換システム&仕様変更シ  
ステム等は、日本企業群が主体となって進める。

数がいくら余っても構わない、自国での展開  
や輸出産業とし、製造が間に合わない国に  
貸し出してもよい。各市町村は基本仕様を  
踏襲しながら、デザインや形状で競い合う

# 木造人工島の海洋都市

各国がSDGS(持続可能な)本来あるべき未来の魅力ある海洋都市を互いに競い合う場

万博参加各国は木造人工島の基本ユニット12mx12mを100 x 100個使用した、1200m x 1200mの島の上に、各種の工夫やデザインを施した建物を構築し、伝統的な祭り・儀式・衣装の紹介、ハイテク技術を駆使した3D映像型遊園地を複数制作し、また各種ビジネスの窓口を設置する。各施設の運営は母国のスタッフが主体的に行うが、従業員は、難民認定を受けた人達を一定の割合(国連で決定される)を採用し、また収益の1/10をユネスコに寄付をする。

## 海洋都市のイメージ



<各国共通で必要なもの>

1. ホテルの部屋数1万人以上収容
2. 銀河鉄道車両&停泊所400台以上(4辺周辺部)
3. 銀河鉄道車両用自動バッテリー交換ハウス8か所以上
4. 銀河鉄道車両メンテナンス工場2か所以上
5. 大使館出張所、病院、警察、消防・・・

バッテリー自動交換所が共通で使用できれば、車両のデザイン・色は自由

**管制システム(チャットGPT):米グーグル等に発注**  
10万台程度までの銀河鉄道車両及び数十万人の一月分の予約及びキャンセル状況を秒単位にてすべて把握している。

個々の追加予約やキャンセルをすべて把握しており、全体として最も効率のよい、配車を行う。  
(余裕ありそうな乗客には遅延の可能性の打診)

# カーボンニュートラルをテーマにし、銀河鉄道が通る「海洋都市万博」にしましょう。

大阪万博の計画当初は、深刻なロシアのウクライナ侵攻を予測していなかったが、間接的に世界中が巻き込まれ、その影響でパビリオンの建設ができなくなったため、見直しを行う。

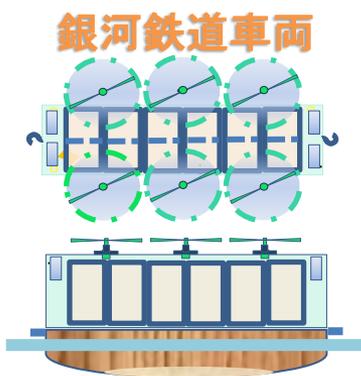
## 「大阪万博の見直し案」

1. 新しい時代を示唆するものを提示。(銀河鉄道でつなぐアンティーク海洋都市&コスプレ社会)
2. 持続可能な展示。(定期的にリニューアルをする、永遠に続く建物にする。例エッフェル塔)
3. カーボンニュートラルのシナリオを提示。(木造人工島の波力発電、ツリー型太陽光発電)
4. チャットGPTによる変わるライフスタイルを提示。(24時間いつでも、働きたいときに働く)
5. 家族負担0の在宅介護システムを提示。(極楽ベッド+匂いのしない水洗トイレ+チャットGPT)



縄文ワールド 江戸ワールド

各国の海洋都市では、アンティークな建物・食事・祭事等を用意し、観光客は自分で民族衣装・かつらを用意する。舞踏会、観劇、寄席、サーカス等をコスプレをした状態で楽しむ。(あらかじめ衣装・かつら等を送付して、保管もしてもらえます。)



ペア間のバランスが最重要

コスプレの大会を開催  
(6月末:各国ごと)  
(12月末:世界一決定)

当時の言語で話すものの、チャットGPTでの「同時翻訳」をスマホで聞くことができる。



欧州中世ワールド

古代ローマワールド

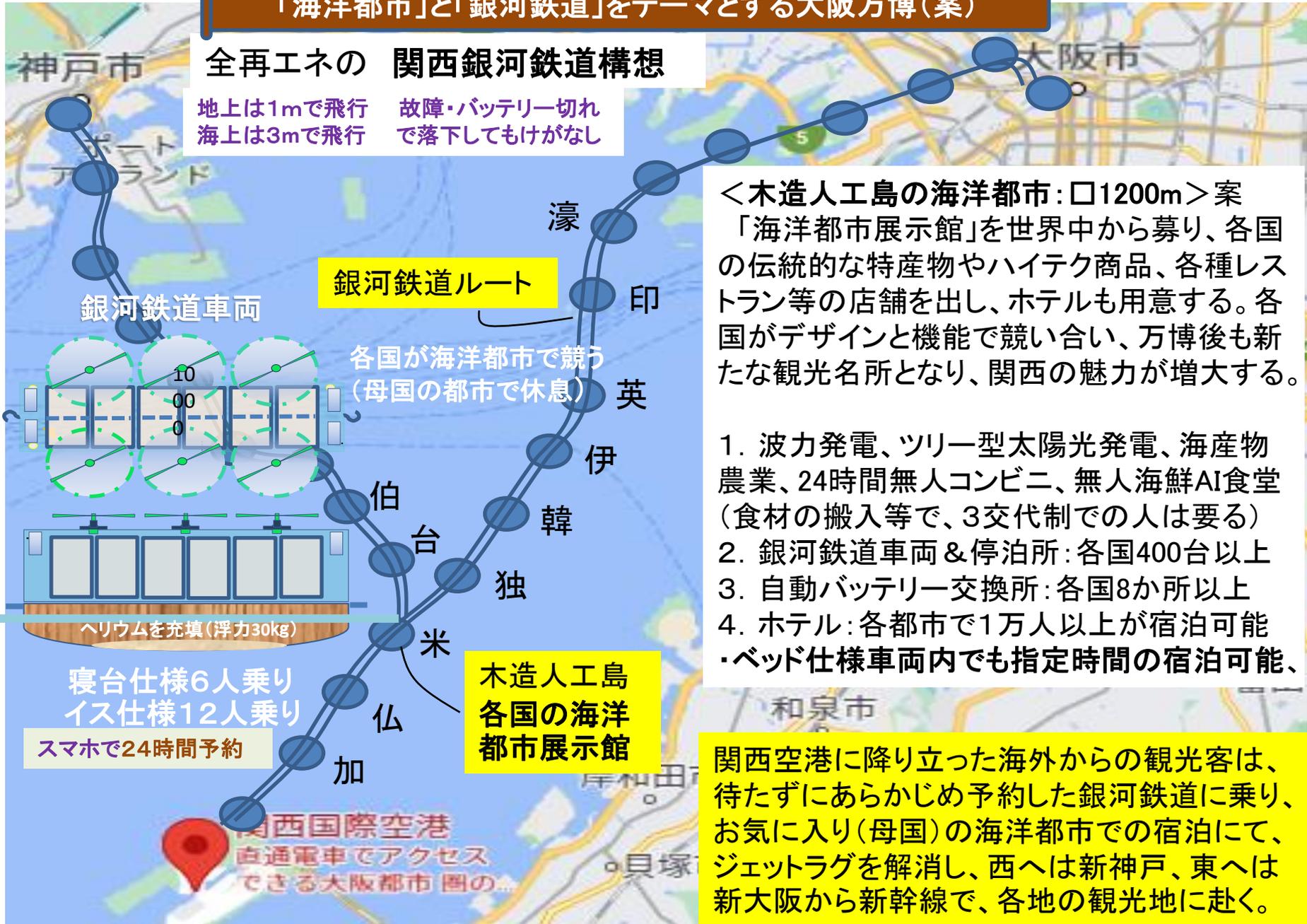


インド中世ワールド

# 「海洋都市」と「銀河鉄道」をテーマとする大阪万博(案)

## 全再エネの 関西銀河鉄道構想

地上は1mで飛行 故障・バッテリー切れ  
海上は3mで飛行 で落下してもけがなし

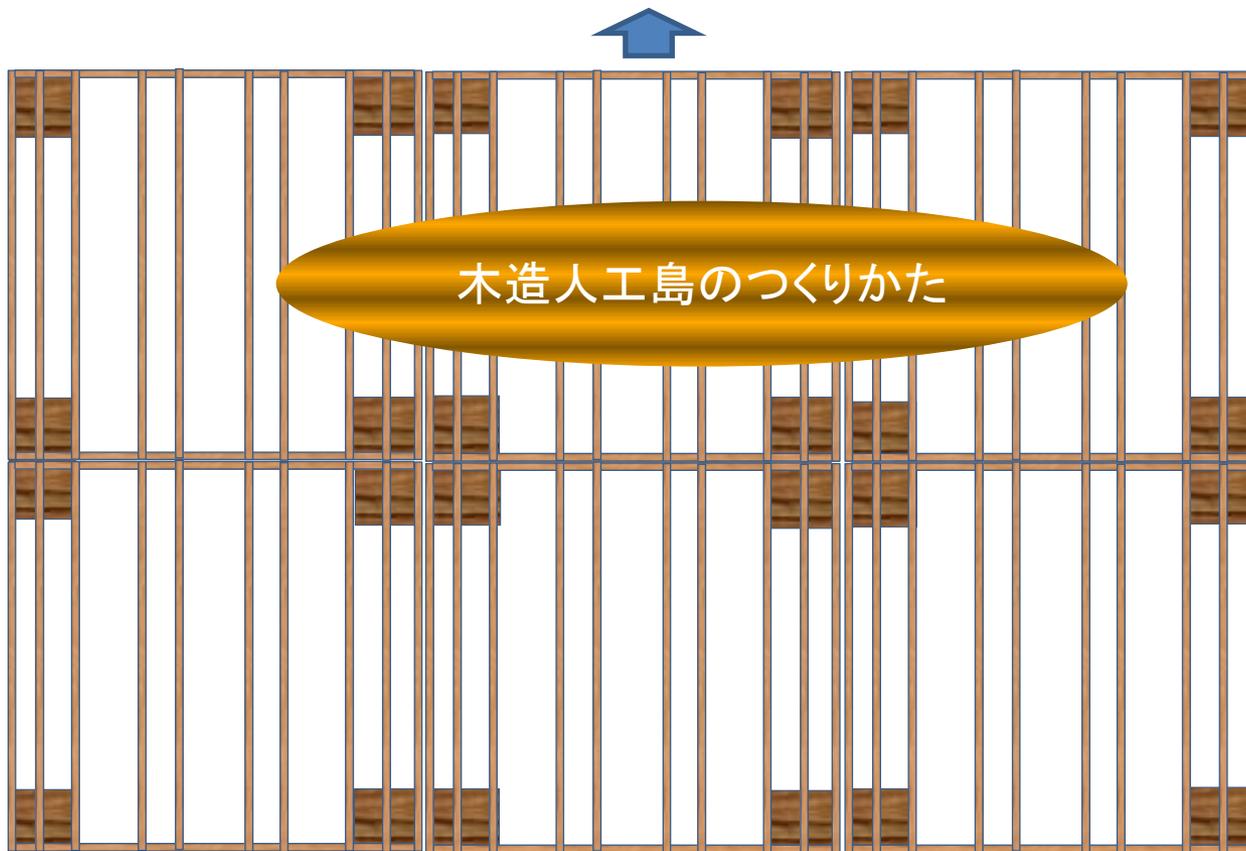


＜木造人工島の海洋都市：□1200m＞案  
「海洋都市展示館」を世界中から募り、各国の伝統的な特産物やハイテク商品、各種レストラン等の店舗を出し、ホテルも用意する。各国がデザインと機能で競い合い、万博後も新たな観光名所となり、関西の魅力が増大する。

1. 波力発電、ツリー型太陽光発電、海産物農業、24時間無人コンビニ、無人海鮮AI食堂 (食材の搬入等で、3交代制での人は要る)
2. 銀河鉄道車両&停泊所: 各国400台以上
3. 自動バッテリー交換所: 各国8か所以上
4. ホテル: 各都市で1万人以上が宿泊可能  
・ベッド仕様車両内でも指定時間の宿泊可能、

関西空港に降り立った海外からの観光客は、待たずにあらかじめ予約した銀河鉄道に乗り、お気に入り(母国)の海洋都市での宿泊にて、ジェットラグを解消し、西へは新神戸、東へは新大阪から新幹線で、各地の観光地に赴く。

□12mの人工島ユニットの場合は、標準木材:3000x300x200の外枠12個&骨組み24個使用し、長さ調整材:2600x300x200を10個使用し、また、両メス型外枠材3000x300x200を2個使用し(以上は床材)、さらに2000x2000x200等の密閉木箱を用意する(total100万位?)



特許: [https://ipforce.jp/patent-jp-P\\_B1-7112150](https://ipforce.jp/patent-jp-P_B1-7112150)

標準的には2mx2mx2m(約8t)の密閉木箱を4個(約32t)を配置し、積載重量に応じて、数をやしたり、下側に積み重ねることもできるので、大型木造ビルが立ち並ぶ、超大型海洋都市が可能になる。

ユニット同士の連結は、φ100の木製のリベットで位置決めをし、木工ボンド等で接着をする。

各地の木工所(製材所)さんにて木材を所定の大きさに加工し、一度仮組をして寸法の確認をし、ばらして、部品のまま船に持ち込み、船上で再組み、クレーンで下ろして、連結していく

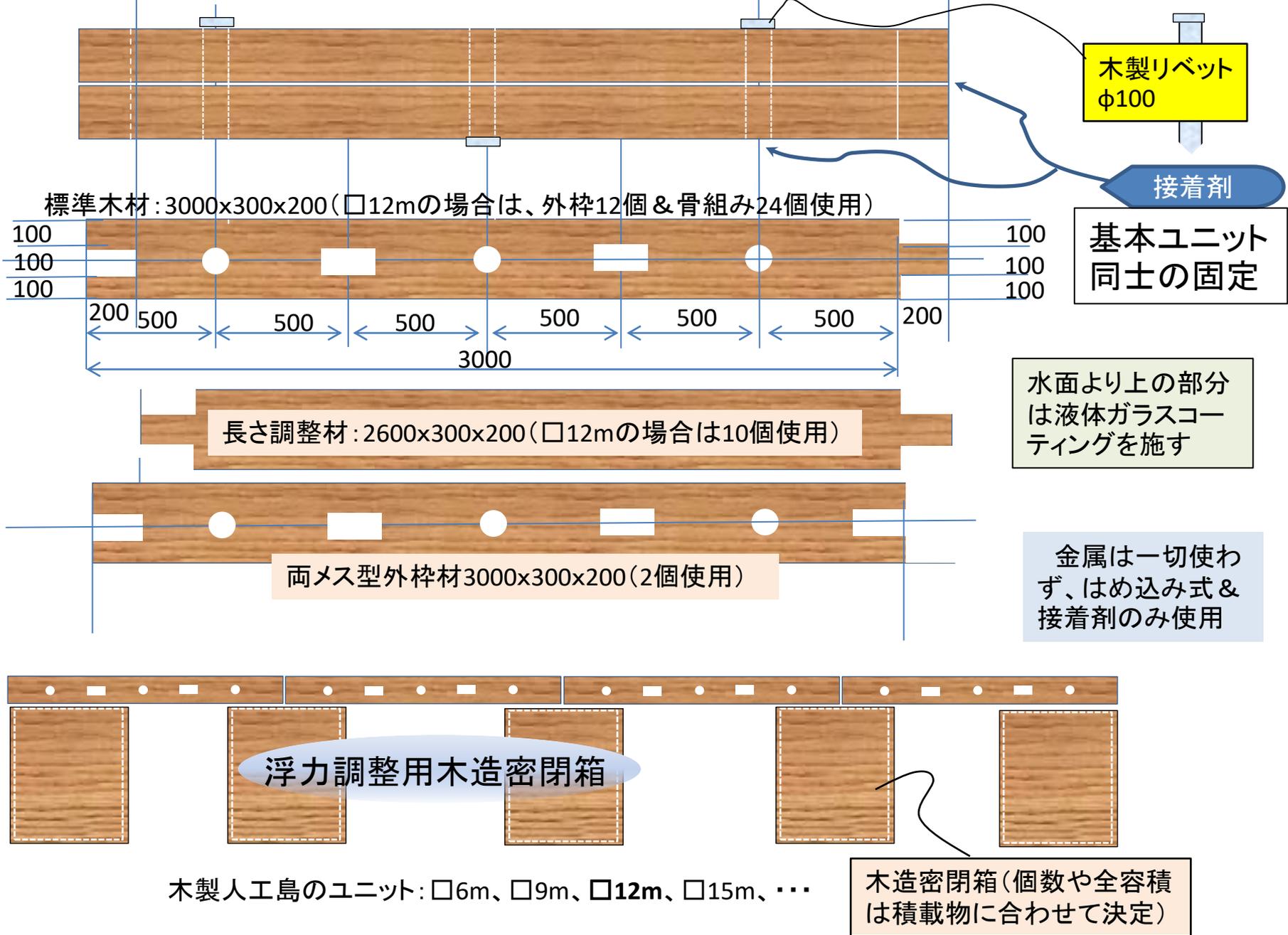
車や人が通る場所は、厚さ30程度の板材と手すりなどを用意する。

住居やビル等は、荷重を分散させながら直接建造設置する。

その他は、平均200の厚さの板材の上に、平均200の土を盛る。

# 木造人工島基本設計図

木材の種類は問わない。リベットは広葉樹の木材を使う



# 重量物移動荷重分散システム

エアバス(550t)等が  
走行する滑走路での  
荷重分散化システム

□12mのユニット(木枠  
&密閉木箱)を15個ずつ  
固定する。(シミュレーショ  
ンでベスト解を得る)

鉄板は溶接、ゴム板  
は接着で大型化する。

赤枠部は、鉄板及びゴム  
板で、各板の厚みをAIシ  
ミュレーションで求める

15個のユニット群  
ごとでの段差発生



海洋  
都市

出発側滑走路

銀河鉄道  
で観光も

上側:畑や牧場  
下側:海産物農業

浮遊型・固定  
の木造人工島  
(居住&商標施設  
&公共施設)

上側:波力発電システム  
&CO2削減工場  
下側:海産物農業

陸地とは銀河  
鉄道で結ぶ。

到着側滑走路

居住地の周りに施設が  
ない場合は大型観葉植  
物設置(防波堤機能)

CO2を削減しながら、自給自足  
の生活&海産物の輸出も行う。

超低コスト  
&千年都市



5t~10t程度になる観葉植物の大  
型鉢が、ずり落ちないように設置する。

